

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度

(活動期間: 令和5年1月～令和5年12月)



発行日: 令和 6 年 3 月 31 日

有限会社 豊

目 次

1. 組織の概要		1
2. 認証・登録の対象範囲		1
3. 環境経営方針		2
4. 環境経営目標		3
5. 環境経営計画		4
6. 環境経営目標の実績		5
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境 経営目標及び環境経営計画	..	9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	..	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果		11

1. 組織の概要

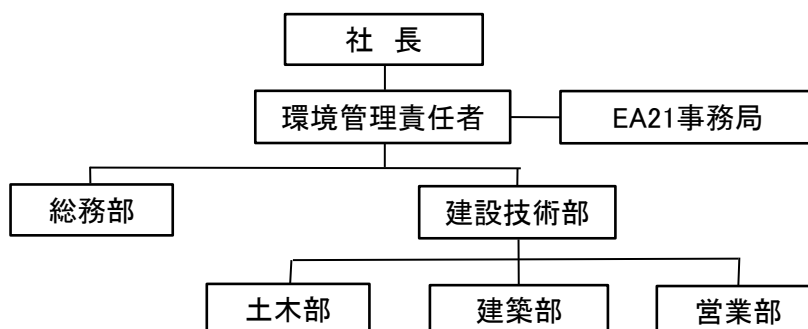
- 1) 事業所名 有限会社 豊
代表者氏名 代表取締役 豊増 麗
- 2) 所在地 本社(登記上) 〒841-0062 佐賀県鳥栖市幸津町1384番地
(実質所在地) 〒841-0062 佐賀県鳥栖市幸津町163-1
- 3) 環境管理責任者 所属/役職 次長 氏名 市丸 博美
連絡先 TEL : 0942-82-8607 FAX : 0942-82-9986
E-Mail : yutatoyo@f2.dion.ne.jp
- 4) 事業の内容 特定建設業 佐賀県知事許可(特-29)第7738号
土木工事業 建築工事業 大工工事業 舗装工事業
解体工事業 とび・土工工事業 内装仕上工事業
石工事業 鋼構造物工事業 水道施設工事業
- 5) 事業の規模 総売上額:254,430千円(令和5年度実績)
- | | | |
|------|----------------|-----|
| | 単位 | 本 社 |
| 従業員数 | 人 | 7 |
| 延床面積 | m ² | 330 |
- 6) 事業年度 1月 ~ 12月

2. 対象範囲

上記の全組織及び全活動

- 1) 対象事業所 本社、本社事務所
- 2) 事業活動 (下記の事業内容)
土木工事業 建築工事業 大工工事業
舗装工事業 解体工事業 とび・土工工事業
内装仕上工事業 石工事業 鋼構造物工事業
水道施設工事業

- 3) 対象組織



環 境 経 営 方 針

【基本理念】

有限会社豊は建設工事を通じて、地域社会への貢献と、地球にやさしい環境への継続的な実行に努め、お客様と従業員が”ゆたか”になるように努力します。

【行動方針】

建設業としての法令遵守・安全第一をモットーに、この素晴らしい地球環境を維持するため、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組めます。

1. 環境活動として、次の事項に取り組めます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
電気、化石燃料の削減に努めます。
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物の削減・リサイクルの促進
 - (4) グリーン調達を推進
 - (5) 本業における環境貢献の促進
事務所及び作業場周辺の清掃活動を実施します。
 - (6) 環境にやさしい工事の施工に努めます。
2. 関係する環境関連法規等を遵守します。
3. 環境経営目標及び環境経営計画を策定し、環境経営の継続的な改善を行います。
4. 環境方針を全社員に周知し、全員で環境保全活動に取り組めます。

制定日 平成26年10月 1日

改定日 令和 2年10月 1日

有限会社 豊

代表取締役 豊 増 麗

4. 環境経営目標

(活動期間: 令和5年1月～令和5年12月)

環境目標	区分	単位	基準年(実績値)	単年度目標	中長期目標(年1.0%削減)		
			平成31年度	令和5年度 (▲4.0%)	令和6年度 (▲5.0%)	令和7年度 (▲6.0%)	令和8年度 (▲7.0%)
			H31年1月～ R1年12月	R5年1月～ R5年12月	R6年1月～ R6年12月	R7年1月～ R7年12月	R7年1月～ R7年12月
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	29,442	28,264	27,970	27,675	27,381
(1) 電気使用量の削減		kg-CO ₂	4,631	4,446	4,399	4,353	4,307
電灯	事務所	kWh	8,553	8,211	8,125	8,040	7,954
動力	事務所	kWh	4,794	4,602	4,554	4,506	4,458
(2) ガソリン使用量の削減	全社	ℓ	3,327	3,194	3,161	3,127	3,094
(3) 軽油使用量の削減	建設現場	ℓ	6,624	6,359	6,293	6,227	6,160
2. 水使用量の削減	事務所	m ³	53.0	51	50	49	48
3. 廃棄物の削減							
一般廃棄物の削減	事務所	kg	514	493	488	483	478
産業廃棄物の削減	建設現場	t	98	93	92	91	90
4. グリーン調達推進 (新規2品目以上/年)	全社	増加品目数	2	2	2	2	2
5. 本業における環境貢献							
清掃活動(4回/年・以上)の実施	全社	回	4	4	4	4	4
環境に配慮した施工(クレームゼロ)	全社	回	0	0	0	0	0

※二酸化炭素排出量算出の電気の排出係数は、九州電力 2018年度の二酸化炭素調整後の排出係数(0.347kg-CO₂/kWh) を用いております。

※二酸化炭素排出量算出のガソリン・軽油の排出係数は、環境省の「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の表(参考1)

(ガソリン 2.32kg-CO₂/L・軽油 2.58kg-CO₂/L)を用いております。

※目標値は平成31年度の実績値を基準にしています。

※化学物質は使用していません。

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減（前年度目標値より1.0%削減）

取組目標		達成手段	担当者 (責任者)	スケジュール			
				1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
1	電 気 使 用 量 の 削 減	不用な照明の消灯・間引き	全員	←			→
		使用していないパソコンの電源オフ	全員	←			→
		空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)	全員	→		←	←
		エアコンフィルターの定期的な清掃	責任者	←	→	←	→
		故障した照明のLEDへの変更	責任者	←			→
2	ガソリン使用量の削減	エコドライブの勉強会	全員		→		→
		燃費の確認及びエコドライブ見直し	責任者	←			→
3	軽油使用量の削減	低燃費機械の使用推進	責任者	←			→
		未使用時のアイドリングストップ	責任者	←			→

2. 水使用量の削減（前年度目標値より1.0%削減）

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール			
				1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
1	節 水 活 動 の 推 進	日常的な節水の励行	全員	←			→
		社用車の洗車を必要最小限にし、節水を励行	全員	←			→
		事務所内以外での使用内容を把握する(水タンクで現場使用等)	全員	←			→

3. 廃棄物の削減（前年度目標値より1.0%削減）

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール			
				1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
1	一 般 廃 棄 物 排 出 量 の 削 減	事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める	全員	←			→
		使用済紙の再利用(コピー裏紙、封筒他)	全員	←			→
		書類のペーパーレス化(メールの活用他)	全員	←			→
		コピー使用量の削減(無駄なコピーを排除)	全員	←			→
2	産業廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進(産業廃棄物発生時)	全員	←			→

4. グリーンの調達推進(1年2品目の採用)

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール			
				1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
1	事 務 用 品 の 購 入	事務用品等でグリーン調達の促進	全員	←			→
2	現 場 使 用 資 機 材	再生材の購入(再生クラッシュラン等)	責任者	←			→
		佐賀県リサイクル認定製品の使用	責任者	←			→
		環境に適応した建設機械の使用	責任者	←			→

5. 本業における環境貢献

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール			
				1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
1	清掃活動(4回/年・以上)の実施	事務所周辺の環境ボランティア活動への参加	全員	←			→
		作業現場周辺の清掃活動の実施	責任者	←			→
		環境に配慮した施工(クレームゼロ)	責任者	←			→

6. 環境経営目標の実績

(活動期間: 令和5年1月～令和5年12月)

環境目標	区分	単位	基準年	活動期間			
			H31年1月 ～ R1年12月	R5年1月～R5年12月 (▲4.0%)			
			実績値	目標	実績	目標達成の 判定	※達成率
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	29,442	28,264	15,802	○	144.1%
(1) 電気使用量の削減		kg-CO ₂	4,631	4,446	5,475	×	76.9%
電灯	事 務 所	kWh	8,553	8,211	7,487	○	108.8%
動力	事 務 所	kWh	4,794	4,602	4,692	×	98.0%
(2) ガソリン使用量の削減	全 社	ℓ	3,327	3,194	1,304	○	159.2%
軽油使用量の削減	建設現場	ℓ	6,624	6,359	2,830	○	155.5%
2. 水使用量の削減	事 務 所	m ³	53.0	51.0	56.0	×	90.2%
3. 廃棄物の削減							
一般廃棄物の削減	事 務 所	kg	514	493	310	○	137.1%
産業廃棄物の削減	建設現場	t	98.0	93.0	6,848.0	×	-7163.4%
4. グリーン調達推進 (新規2品目以上/年)	全 社	品目	2	2	2	○	100.0%
5. 本業における環境貢献							
清掃活動(4回/年・以上)の実施	全 社	回	4	4	4	○	100.0%
環境に配慮した施工(クレームゼロ)	全 社	回	0	0	0	○	100.0%

※二酸化炭素排出量算出の電気の排出係数は、九州電力 2018年度の二酸化炭素調整後の排出係数(0.347kg-CO₂/kWh) を用いております。

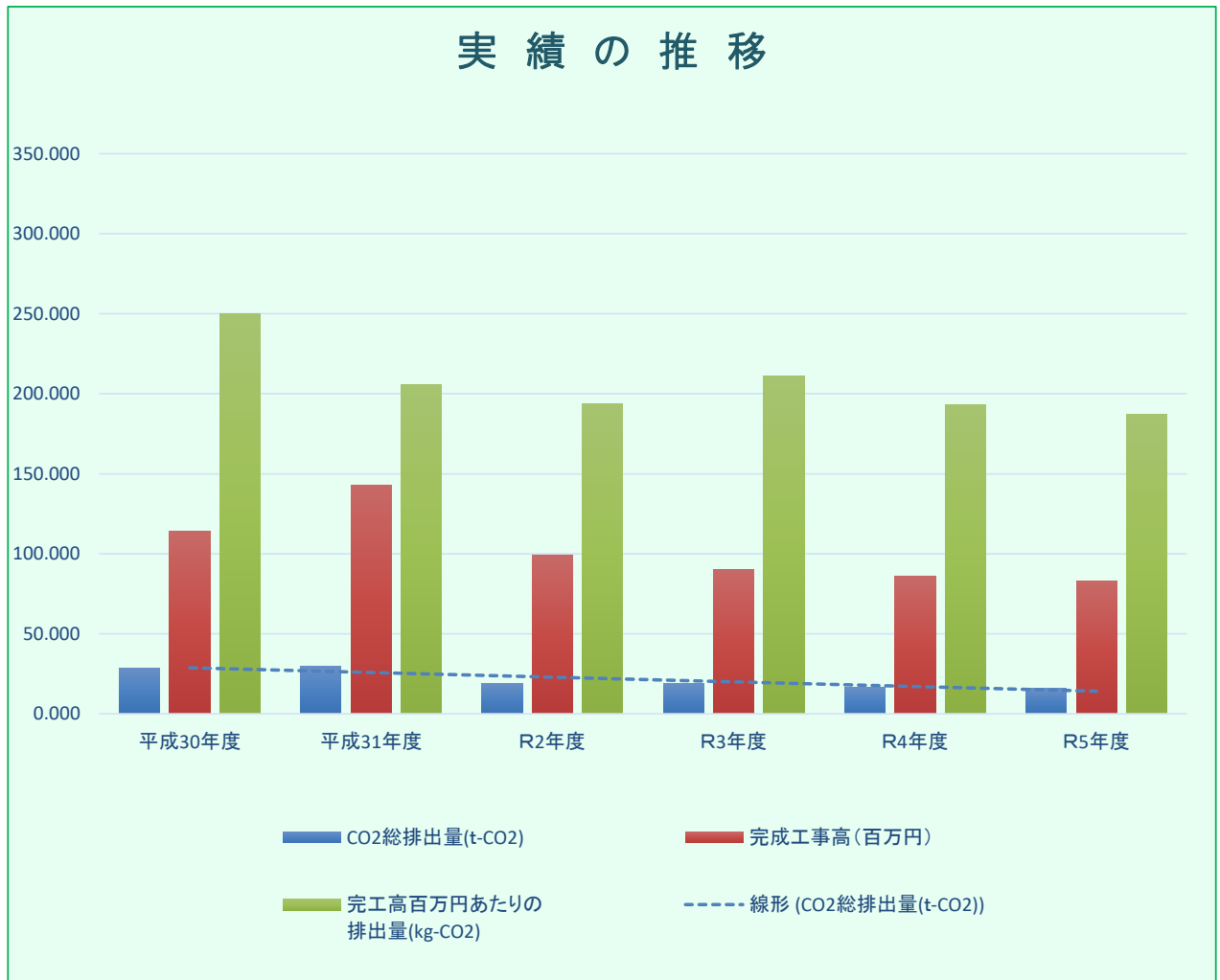
※二酸化炭素排出量算出のガソリン・軽油の排出係数は、環境省の「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の表(参考1)(ガソリン 2.32kg-CO₂/L・軽油 2.58kg-CO₂/L)を用いております。

※軽減が目標の達成率の算式は、
$$\left[\frac{\text{目標値} - \text{実測値}}{\text{目標値}} + 1 \right] \text{に100を掛けて算出}$$

※産業廃棄物については、鳥栖市「新市庁舎整備事業 旧北別館・東別館・旧庁舎解体工事」から発生した廃棄物を含んでいる。

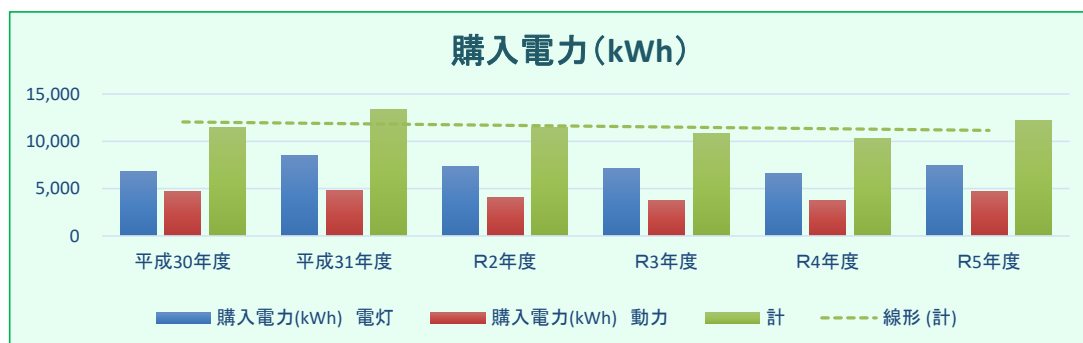
実績の推移

項目/事業年度	平成30年度	平成31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
CO2総排出量(t-CO2)	28.546	29.440	19.212	19.071	16.623	15.802
完成工事高(百万円)	114	143	99	90	86	83
完工高百万円あたりの 排出量(kg-CO2)	250	206	194	211	193	187



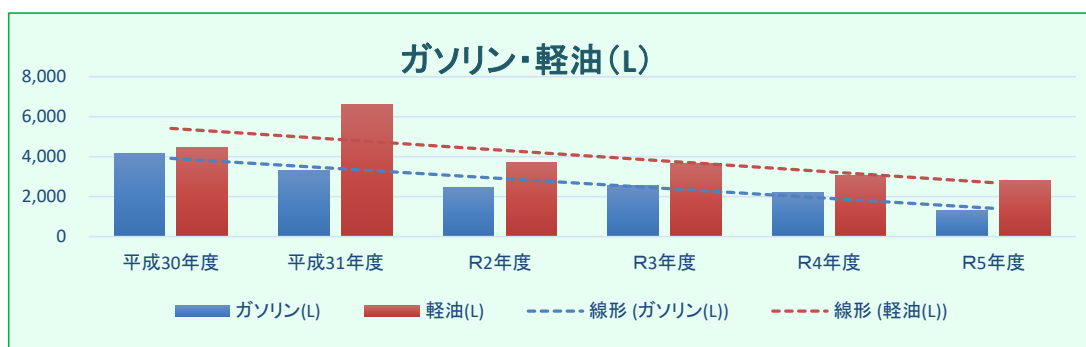
◆購入電力

環境目標項目	平成30年度	平成31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
購入電力(kWh) 電灯	6,798	8,553	7,366	7,090	6,580	7,487
購入電力(kWh) 動力	4,677	4,794	4,115	3,745	3,721	4,692
計	11,475	13,347	11,481	10,835	10,301	12,179



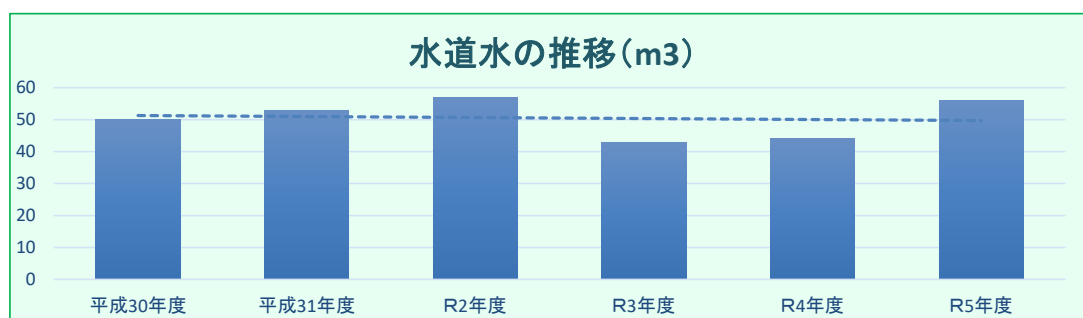
◆ガソリン・軽油

環境目標項目	平成30年度	平成31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ガソリン(L)	4,162	3,327	2,440	2,540	2,222	1,304
軽油(L)	4,485	6,624	3,707	3,651	3,059	2,830
計	8,647	9,951	6,147	6,191	5,281	4,134



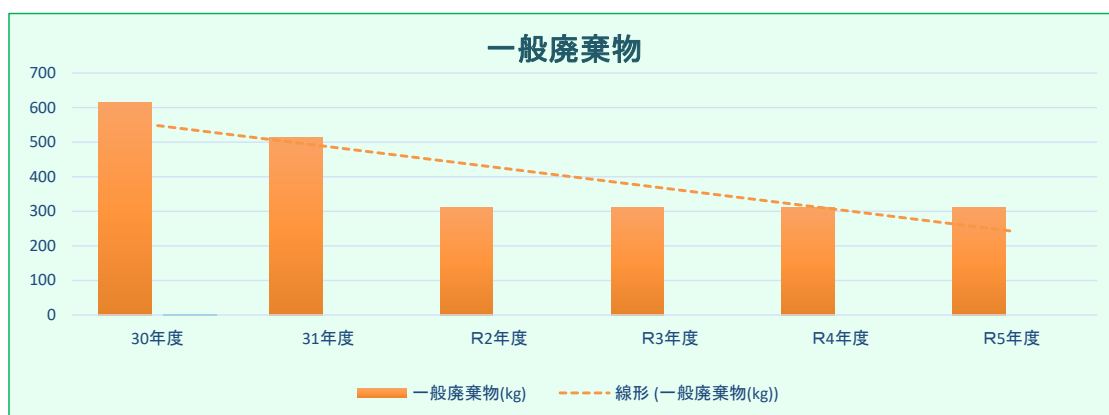
◆水道水

環境目標項目	平成30年度	平成31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
水道水(m3)	50	53	57	43	44	56



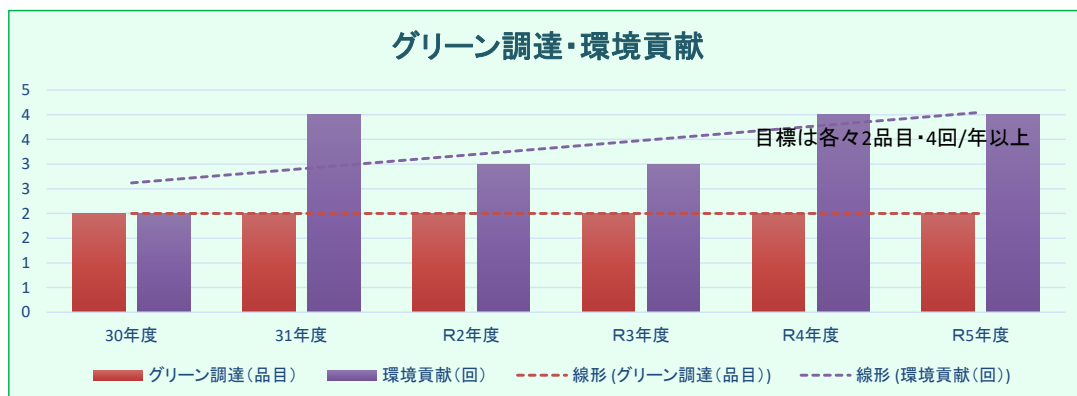
◆一般廃棄物

環境目標項目	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
一般廃棄物(kg)	615	514	312	310	311	310



◆グリーン調達・環境貢献

環境目標項目	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
グリーン調達(品目)	2	2	2	2	2	2
環境貢献(回)	2	4	3	3	4	4



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減(1.0%削減)

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	今年度の評価	次年度の環境目標及び計画
電気使用量の削減	○	不要な照明の消灯・間引き	○	電気使用量が増加傾向にある為、昼休みの消灯の継続、パソコンやエアコン等、無駄な使用をなくす努力が必要と思われる。	実施当初は活動の浸透度が低かったが、呼びかけにより徐々に意識が向上し、少しずつではあるが改善がみられる。次年度も引き続き同様の活動を継続する。エアコンの定期的検査は継続する。環境経営目標についての見直しは行わない。
		パソコンの電源管理	○		
		空調の適温化	△		
		エアコンフィルターの定期的な清掃	○		
ガソリン使用量の削減	○	エコドライブの勉強会	○	エコ運転の勉強会通じエコのみならず安全運転にも繋がることの理解が浸透しつつある。チェックリストを今後も活用していきたい。	
		燃費・エコドライブ見直し			
軽油使用量の削減	○	低燃費機械の使用推進	○	低燃費の機械の使用はリース会社の意識も高くお互いにより良いものを使用している。現場での有効な使用は定着しつつある。	
		アイドリングストップの実施			

2.水使用量の削減(1.0%削減)

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	今年度の評価	次年度の環境目標及び計画
節水活動の推進	○	日常的な節水の励行	○	節水のシール貼付、呼びかけにより適正に管理されて目標を達成できている。	今年度は事務所以外の使用が無かったこともあり、目標は十分に達成されている。次年度も継続して管理していく。無駄のない日常化を目指す。環境経営目標についての見直しは行わない。
		社用車の洗車節水を励行			
		事務所内以外での使用内容を把握する(水タンクで現場使用等)	○		

3.廃棄物排出量の削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	今年度の評価	次年度の環境目標及び計画
一般廃棄物排出量の削減	○	事務所ゴミ分別の徹底	○	事務所の一般廃棄物は削減され目標を達成している。しかし連動するコピー使用量の削減(ミスコピーを含む)を進めないと進展はない。	事務所での一般廃棄物の削減は浸透しつつあるが、コピー使用量が多いので「1人1日1枚の削減」を目標に管理していく。現場での廃棄物削減は作業員の意識高揚に力を入れたい。次年度も同様の活動を継続する。環境経営目標についての見直しは行わない。
		使用済紙の再利用			
		書類のペーパーレス化			
産業廃棄物排出量の削減	○	分別によるリサイクルの推進	○	土木・建築現場共、混載ゴミの削減が浸透しつつある。1仕事1片付けの励行を定着させること。	

4.グリーン調達推進(新規2品目/年以上追加)

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	今年度の評価	次年度の環境目標及び計画
事務用品の購入	○	事務用品等でグリーン調達の促進	○	今年度は1品目実施。事務用品においては達成されている。	事務用品等はお店の人が来た時に新しい情報を入手して活動を広げていく。 また、環境に適応した建設機械の使用を継続して次年度も取り組む。 環境経営目標についての見直しは行わない。
		(新規1品目/年)以上			
現場資機材の使用	○	再生材・県リサイクル認定品の使用 (再生クラシラン等)	○	現場の消火器で目標を達成している。	
	○	振動・騒音・排ガス対策の機械使用	○		
		(新規1品目/年)以上			

6.本業における環境貢献(4回以上/年)

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	今年度の評価	次年度の環境目標及び計画
本業における環境貢献	○	事務所・現場周辺の清掃活動の実施	△	盆と年末に事務所清掃後、周辺のボランティア活動を実施しているが、前半の時期での活動時間が取れなかった。	今年度は、現場において計画通りに実施できなかった。現場においては環境にやさしい工事の施工を考えながら今後とも取組みを継続する。環境経営目標についての見直しは行わない。
	○	環境に配慮した施工(クレームゼロ)	○	各現場の終了前には全員で1片付けを実施。発注者及び現場周辺からのクレームなし	

○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・ 当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規等	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管管理、排出 マニフェストの交付、回収、保管の適正処理ほか	対応している
建設リサイクル法	一定規模以上は、建築4品目の分別解体と再資源化ほか	対応している
ラージリサイクル法	再生資源利用計画の作成 再生資源利用促進計画の作成	対応している
オフロード法	特定特殊自動車の使用(バックホウ・クローラ型)	対応している
フロン排出抑制法	フロン排出抑制管理者判断 点検の実施	対応している
自動車リサイクル法	自動車所有者の義務	対応している
家電リサイクル法	事業者及び消費者の責務	対応している
小型家電リサイクル法	事業者の責務	対応している
石綿障害予防規則	アスベストに係る規則事項	対応している
騒音規制法	特定建設作業の提出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	対応している
振動規制法	特定建設作業の提出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	対応している

- ・ 令和5年12月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・ また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2015年の認証・登録から8年経ちました。勉強会などを通じ、社内の環境に対する認識が大きく高まったと感じています。

個々についてはまだまだ改善の余地がありますが、今後とも環境管理責任者を中心に社内一丸となって、環境理念であるお客様と従業員が”ゆたか”になるよう、より一層努力して行く所存です。

1. 二酸化炭素排出量の削減について

全体的に目標を達成しており、良い傾向にあります。但し、電気消費量は、昨年と同程度になり年間の使用がやや平準化されてきた。どうしても、冷え込みが厳しい時、残暑が続く時には一時的にエアコンの温度を変える事になるが、定期的な点検・清掃を実施している。

近年、電灯のLEDへの切り替え等、節電の努力をしてまいりましたが、再度、現状の無駄を拾い出し、更なる節電に努めていきます。

化石燃料消費量削減ではガソリン・軽油の使用量を把握し、エコドライブを継続して実施しています。その結果、昨年よりやや減少し、目標より大幅クリアしております。

工事量は昨年とほぼ同程度になり、使用に当たっては少し減少しました。今後も常に省エネを念頭に置き、また外注工事についても化石燃料の使用量と省エネを指導・把握して参ります。

2. 水の使用量の削減について

使用量は、昨年と同程度になり年間の使用が平準化されてきた。10月の使用量が増えたが、原因は水道管老化のため、水漏れが発生。全体的に意識が浸透し、活動が日常化されたので、このまま継続していく。来年度も目標達成するように、水も大切な資源であることを再認識し、今後も節水に努めると共に、水道管の定期的な点検を行いたいと思います。

3. 廃棄物の削減について

業廃棄物の削減については、建築・解体工事における混載ゴミなど目標達成ができています。

1仕事1片付けの実行が成果を上げていると思われます。土木、建築工事とも作業状況から現場内での作業員の環境への意識が高まり、定着しているので、年間の目標を達成できています。今後は分別することで再利用も可能となるので目標がもっとクリアできるよう改善に努めます。

コピー用紙につきましては、1人1日1枚の削減のスローガンを浸透させていきます。ダイレクトメッセージのFAXが多いので、業務に不要なFAXは、各業者に連絡をして極力送信登録を外してもらうことにしたので、今後の成果に期待しております。

4. グリーン調達の推進について

社内ルールに基づいたグリーン購入は定着しつつあるようです。

取引業者からも情報を入手し、今後の活動に生かしていきたいと思います。

5. 本業による環境貢献について

環境方針として掲げている『建設工事を通じて、地域社会に貢献する』との認識に立って、以前に比べて回数が少なくなっており、今後とも地域に密着した企業を目指すため、市内の工事に関する清掃等に積極的に取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいきます。建設現場周辺の清掃活動に関しては、とても残念ですが・・・今年度は目標達成できませんでした。現場作業が忙しく、手が回らなかった事が原因ですが・・・来年度は意識して積極的に行うように努めてまいります。

また、現場においては環境にやさしい工事の施工を常に考えながら進めていきます。

以上より、環境目標の達成状況、環境活動計画の実施及び運用結果、環境関連法規等の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望等の情報を総合すると、事務所や建設現場において環境方針、環境目標、環境活動計画、環境経営システムに関して見直しの必要性無しとします。今後も、確実な環境経営システムの確立に努めて参ります。